“世紀のダヴィンチを探せ！”高校生アートコンペティション2026
芸術計画部門　企画書

学校名
早稲田大学系属早稲田実業学校高等部
氏名
沼口恵茉

タイトル

Architecture of Climate ―環境に導かれる身体―

コンセプト

私たちは、自然を制御しているのだろうか。それとも、**制御されているのは私たちの方なのか。**
極端な高温や豪雨が相次ぐ一方、都市では空調や気象予測によって不快や危険を先回りして遠ざけている。
こうした技術は快適さを生むだけでなく、私たちの滞在場所や進路、行動の時機まで形づくる。
私たちは自ら選んでいるようで、環境に方向づけられているのではないか。

本企画は、この**見えない**「環境の設計＝アーキテクチャ」を、霧、光、雨、音が観客の選択に先んじて変化し、行動を導く体験へ置き換える。
環境を動かす身体と、環境に動かされる身体。
その境界を揺さぶり、**テクノロジーが生活を最適化する時代の**「制御」と「自由」を問い直す。

企画概要

開催日時

2027 年 3 月 19 日(金)～5 月 9 日(日)　10:00~18:30(入場は 18:00 まで)
・Morning Sky Walk：木場公園で朝の光・風・雲を楽しみ、《Rain Room》へ（予約制）
・4/22（アースデイ）：世界各地の空と雨音を生中継する「Earth Sky Live」
・GW 期間：親子で小さな雲をつくり、雲と雨のしくみを学ぶ「Cloud Lab」

開催場所

東京都現代美術館（MOT）　企画展示室 1F 2F / 地下 2F（※将来的な国際巡回展の起点として設定）
大規模な霧・水・光の装置や音響空間を構築できる国内有数の大空間と設備インフラを完備。
海外の美術館やキュレーターからの注目度も高く、本展を**東京から世界へと発信する国際巡回プロジェクト**の初回会場として最適であるため。

ターゲット

性別を問わず、**人工的な快適環境に慣れた 15～35 歳の都市生活者**を主対象とする。
副対象として、体験型展示に関心のある**訪日外国人観光客**と、**小学生以上の子どもを持つ家族**を想定する。

運営体制

主催　公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、朝日新聞社、テレビ朝日、teamLab
協賛　パナソニックエレクトリックワークス株式会社、ソニーグループ、資生堂、全日本空輸
協力　Time Out Tokyo、 J-WAVE
後援　文化庁、観光庁、東京都、デンマーク王国大使館

実施計画

本展は、観客の選択に先んじて導く**「環境の設計＝アーキテクチャ」**を全四章で体験させる。
以下、各章の主要作品を示す。

【第1章　　光は、道をつくる】オラファー・エリアソン《Your atmospheric colour atlas》ほか
霧の中、色光を頼りに進み、選択も光に形づくられたと知る。

【第2章　　雨は、私を避ける】Random International《Rain Room》ほか
雨が身体を避け、自然を操る高揚を味わう。だが快適さは身体を機械に読ませて初めて成立する。

【第3章　　快適さは、人を動かす】teamLab 委嘱新作《BEFORE YOU CHOOSE》（仮称）ほか
人数と滞留を測り、混雑に応じて空いた方向を光で示し、風と音で人流を導く。出口の人流図で、自分の選択も混雑回避へ導かれたと知る。

【終章　同じ空を、感じる】センサーのないサンクンガーデンで空・風・雨を感じる。夜は Studio Roosegaarde《WATERLICHT》が風雨に反応し、観客を光の洪水で包む。**個人の快適さ**から**共有する気候**へ目を向け、自由とは環境の影響に気づき、**関係を選び直すこと**ではないかと観客へ問う。

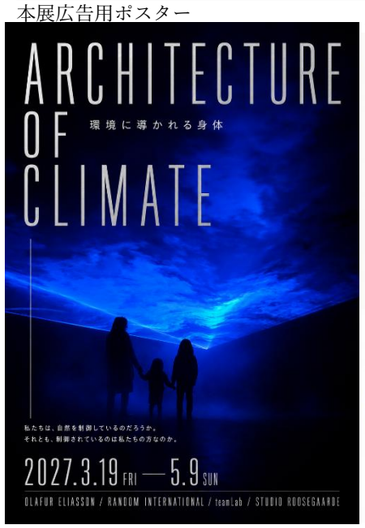
広報計画

展覧会の周知と**地域回遊**を**一体化**する。

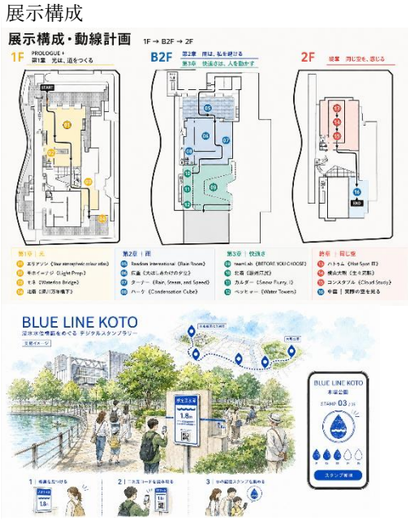
・**メディア**：会期前に記者内覧会を開き、テレビ・新聞・美術誌へ水害史と作品を併せて発信。
・**SNS**：アート・映像系クリエイターを先行招待し、TikTok・インスタグラム Reels で没入体験を配信。
総リーチ 10 万件を目指す。
・**交通広告**：清澄白河駅に、雨で図柄が現れるポスターを掲出し、**通勤・家族層へ訴求**。
・**RainPass**：江東区の降雨時、Web・X で **20%割引券**を配信。**利用率 5%**を目指す。
・**地域連携**：**想定浸水深表示のデジタルスタンプラリー(図１)**、清澄白河の**カフェ 20 店で半券特典**を実施。
参加・利用率各 10%を目標に、地域理解と消費を促す。**来場者 1 万人**を目指す。

※図版（イメージ図や統計グラフ等）が必要となる場合はここに貼ってください。

本展広告用ポスター



展示構成



企画展グッズ



〈左下〉図１〈下〉本企画の実施意義を裏付ける日本の年平均気温偏差(出典：気象庁)

